

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社ゲオディノス
 コード番号 4650 URL <http://www.geodinos.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 清水 松生
 (氏名) 吉住 実

TEL 011-241-3951

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,018	△2.9	6	—	△31	—	△61	—
23年3月期第1四半期	2,077	68.2	△12	—	△43	—	△83	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△14.46	—
23年3月期第1四半期	△19.48	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	10,401	2,369	22.8	555.91
23年3月期	10,246	2,426	23.7	569.40

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 2,367百万円 23年3月期 2,424百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,250	△0.8	10	△87.8	△70	—	△110	—	△25.70
通期	8,900	2.7	310	3.1	130	△19.1	80	84.5	18.69

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	4,303,500 株	23年3月期	4,303,500 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	45,094 株	23年3月期	45,084 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	4,258,412 株	23年3月期1Q	4,283,449 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、上向きの動きがみられるものの、東日本大震災の影響等により依然として厳しい状況のまま推移しました。具体的には、サプライチェーンの立て直しが進み、生産活動が回復していくに伴い、海外経済の緩やかな回復や各種政策効果などを背景に、景気が持ち直していくことが期待されてはおりますが、電力供給の制約や原子力災害及び原油高の影響に加え、デフレの影響や失業率が依然として厳しい状況にあることなどから、景気は弱い動きのまま推移しました。

このような状況のもと、GAME運営部において、中規模ゲーム施設1店舗の新規オープンがありました。ゲーム機種及びプライズ機における景品のヒットが少なかったこと、ディノス施設運営部のシネマにおいて前期よりヒット作品が少なかったことなどにより、当第1四半期累計期間の売上高は20億18百万円（前年同四半期比2.9%減）となりました。利益においては、当期及び前期に3ヶ所のディノス施設において、一部の不採算スペースをカラオケ店もしくは事務所等として他社に賃貸し収益改善を図ったこと、省エネを目的とした設備投資により光熱費が前期より減少したことなどにより、営業利益は6百万円（前年同四半期は営業損失12百万円）、経常損失は31百万円（前年同四半期は経常損失43百万円）、四半期純損失は61百万円（前年同四半期は四半期純損失83百万円）となりました。

当第1四半期累計期間における営業実績を事業のセグメント別に示すと次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	前年同四半期比 (%)
GAME運営部 (千円)	844,322	△2.8
フィットネス運営部 (千円)	506,856	2.1
ボウリング運営部 (千円)	284,032	△4.4
カフェ運営部 (千円)	166,796	△5.9
ディノス施設運営部 (千円)	216,257	△9.5
(シネマ) (千円)	(170,293)	(△15.5)
(その他) (千円)	(45,964)	(22.5)
合計 (千円)	2,018,266	△2.9

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 平成23年6月1日付の組織変更に伴い、ディノス事業部のボウリング事業をボウリング運営部に、同じくシネマ事業及び土地・建物の賃貸収入等その他をディノス施設運営部に区分及び名称を変更しております。また、ディノス事業部の実質的にボウリング場の付帯施設の位置づけであったF A事業1店舗を除きボウリング運営部に変更しており、独立店舗的性格の強い1店舗をカフェ運営部に変更しております。前年同四半期比 (%) は参考であります。

3. ディノス施設運営部の(その他)は、土地・建物の賃貸収入等の売上であります。

4. ディノス施設運営部のセグメント内訳は、内部管理上採用している区分によっております。

(GAME運営部)

GAME運営部につきましては、ゲオパークじょいくる一ざ店（平成23年4月）の新規オープンがありました。ゲーム機種及びプライズ機における景品のヒットが少なかったことなどにより、売上高は8億44百万円（前年同四半期比2.8%減）となりました。

(フィットネス運営部)

フィットネス運営部につきましては、ゲオフィットネス国立（平成23年5月グランドオープン）がオープンし、店舗数が増えたことなどにより、売上高は5億6百万円（同2.1%増）となりました。

(ボウリング運営部)

ボウリング運営部につきましては、前半東日本大震災の発生に伴う自粛等の影響などにより、多くの予約団体がキャンセルになったこと、後半キャンセルになった予約団体が戻ってはきたものの、前半の自粛等による落ち込みが大きかったことなどにより、売上高は2億84百万円（同4.4%減）となりました。

(カフェ運営部)

カフェ運営部につきましては、1店舗が閉店（平成22年11月）したことなどにより、売上高は1億66百万円（同5.9%減）となりました。

(ディノス施設運営部)

ディノス施設運営部につきましては、その他において、当期及び前期にディノス札幌白石など3施設において一部スペースをカラオケ店もしくは事務所等として他社に賃貸したことにより、不動産賃貸収入が増加しましたが、シネマにおいて、ヒット作品が少なかったこと、ディノスシネマズ札幌白石を閉館(平成23年5月)したことなどにより、売上高は2億16百万円(同9.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期会計期間末の総資産は104億1百万円となり、前事業年度末に比べ1億55百万円増加しました。これは主に、現金及び預金等流動資産の増加(前期末比1億81百万円増)があったことによるものであります。

負債については、80億31百万円となり、前事業年度末に比べ2億12百万円増加しました。これは主に、長期借入金等固定負債の減少(同92百万円減)がありましたが、短期借入金等流動負債の増加(同3億4百万円増)があったことによるものであります。

純資産については、23億69百万円となり、前事業年度末に比べ56百万円減少しました。これは主に、利益剰余金の減少(同61百万円減)があったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成23年5月9日付「平成23年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて発表した業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	767,655	948,528
売掛金	110,936	94,259
商品及び製品	28,173	34,463
原材料及び貯蔵品	73,347	84,123
その他	115,766	116,257
貸倒引当金	△635	△500
流動資産合計	1,095,244	1,277,132
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,623,455	3,612,378
アミューズメント機器(純額)	501,667	476,567
土地	2,699,860	2,699,860
その他(純額)	706,466	709,140
有形固定資産合計	7,531,449	7,497,946
無形固定資産		
投資その他の資産	31,038	29,473
差入保証金	1,205,942	1,209,557
その他	369,613	369,819
投資その他の資産合計	1,575,556	1,579,377
固定資産合計	9,138,045	9,106,798
繰延資産	12,879	17,540
資産合計	10,246,168	10,401,472
負債の部		
流動負債		
買掛金	168,420	174,894
短期借入金	—	400,000
1年内償還予定の社債	155,000	168,000
1年内返済予定の長期借入金	1,136,763	1,115,223
1年内返済予定の長期未払金	324,943	323,668
未払法人税等	25,175	11,945
賞与引当金	38,994	14,991
ポイント引当金	4,300	4,400
店舗閉鎖損失引当金	3,804	1,100
その他	919,091	866,503
流動負債合計	2,776,492	3,080,726
固定負債		
社債	530,000	672,000
長期借入金	2,665,823	2,493,739
長期未払金	1,022,824	967,818
退職給付引当金	169,261	171,893
資産除去債務	112,698	113,318
その他	542,536	532,155
固定負債合計	5,043,143	4,950,924
負債合計	7,819,635	8,031,651

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	948,775	948,775
資本剰余金	1,128,995	1,128,995
利益剰余金	357,745	296,182
自己株式	△20,983	△20,987
株主資本合計	2,414,532	2,352,965
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,228	14,342
評価・換算差額等合計	10,228	14,342
新株予約権	1,773	2,513
純資産合計	2,426,533	2,369,821
負債純資産合計	10,246,168	10,401,472

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	2,077,977	2,018,266
売上原価	463,961	430,160
売上総利益	1,614,016	1,588,105
販売費及び一般管理費		
給料	391,744	398,727
賞与引当金繰入額	9,685	14,991
退職給付費用	5,868	5,039
水道光熱費	165,850	154,407
租税公課	31,035	21,115
地代家賃	305,164	317,041
減価償却費	178,618	171,883
修繕維持費	108,985	105,590
その他	429,574	392,528
販売費及び一般管理費合計	1,626,528	1,581,325
営業利益又は営業損失(△)	△12,511	6,780
営業外収益		
受取利息	894	965
受取配当金	1,082	838
アミューズメント機器売却益	1,111	—
協賛金収入	1,766	2,538
その他	2,121	2,028
営業外収益合計	6,977	6,370
営業外費用		
支払利息	34,241	32,311
アミューズメント機器処分損	2,771	—
休止固定資産関係費用	—	9,219
その他	1,128	2,781
営業外費用合計	38,141	44,313
経常損失(△)	△43,675	△31,162
特別利益		
固定資産売却益	27	—
ポイント引当金戻入額	750	—
特別利益合計	777	—
特別損失		
固定資産売却損	3,211	—
固定資産除却損	1,932	108
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	20,454	—
リース解約損	741	—
特別損失合計	26,339	108
税引前四半期純損失(△)	△69,237	△31,271
法人税、住民税及び事業税	7,953	8,068
法人税等調整額	6,267	22,222
法人税等合計	14,220	30,291
四半期純損失(△)	△83,458	△61,562

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。